

業績一覧 (2005－2007)

論文

Nakase Y, Yasui N, Hiroshima K, et al : Surgical outcomes after treatment of fractures in femur and tibia in pycnodysostosis. Arch Orthop Trauma Surg. 127:161-165, 2007.

廣島和夫：9. 整形外科における診療対応. 市川光太郎編「小児虐待へのアプローチ」. p116-124. 中外医学社東京, 2007.

廣島和夫：No 1789 被虐待児症候群の診断. マルホ整形外科セミナー. 第181集：20-23, 2007.

廣島和夫：患者面接とインフォームド・コンセントのポイント「虐待・DVなどの疑いがある場合」 関節外科、4月増刊号（特集：研修医が知っておきたい整形外科必須マニュアル）. p144-148. メジカルビュー社, 2007.

廣島和夫：in 越智隆弘 総編集 最新整形外科学大系. 21 骨系統疾患・代謝性骨疾患. 中山書店. 東京, 2007.

第1章 骨の成長・発達異常

骨系統疾患・代謝性骨疾患の診断手順, p18-27

第8章 骨密度が低下する疾患

骨形成不全症, p212-223

第9章 骨密度が増加する疾患

メロレオストーシス, p258-261

廣島和夫：in 越智隆弘 総編集 最新整形外科学大系. 18 下腿・足関節・足部. 中山書店. 東京, 2007.

5章 小児の足部障害 小児扁平 p153-162

芳賀信彦, 廣島和夫, 津村弘ら：2006年版 骨系統疾患国際分類の和訳. 日本小児整形外科学会誌, 111：1473-1486, 2007.

Morinaga T : Effect of pulsed high frequency energy on cutaneous blood flow. Annual reports of Faculty of Rehabilitation Shijonawate Gakuen University. 1:1-5, 2005.

市橋則明, 森永敏博, 坪山直生, 大畑光司：施設入所高齢者に対するバランストレーニングが日常生活活動能力改善と転倒予防に与える影響. 慢性疾患・リハビリテーション研究振興財団研究報告書 3：1-9, 2005.

森永敏博：オーストラリアにおけるリハビリテーション医療の動向. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要 2：31-33, 2006.

山下協子：1. 脚分離ハイバック吊り具の改良(試作). 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要創刊号：55-58, 2005.

山下協子：2. 障害者と衣服. 日本衣服学会誌 50：144-147, 2007.

山下協子：1. いきいき生きる(市民公開講座). 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要 2：39-43, 2006.

小西啓悦：レチノイン酸の胎生期暴露がラット胎児の発生に及ぼす影響. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要, 1：7-13, 2005.

小西啓悦：ラット胎児においてレチノイン酸により誘導される奇形の特徴. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要 2：9-17, 2006.

Yasuda M, Matsubara J, Yamasaki H, Fujita Y, Konishi H, Koinuma S, Taketani S, Horiuchi Y, Utsumi H, Yasuda Y : Death-resistant and nonresistant malignant human cell lines under anoxia in vitro. Int J Clin Oncol 12: 455-462, 2007.

三崎旭, 中田忍, 賀来華江, 角田万里子：クワイ(Sagittaria trifolia L. var sinensis)塊茎からの a-xylosre, a-Galactose および a-Mannose 結合レクチンの単離と特性. Trace Nutrient Res. 22：31-38, 2005.

三崎旭, 角田万里子, 中田忍, I.J. Goldstein：バナナ(Musa acuminata)レクチンによる多糖の内部鎖の特異的認識. Trace Nutrient Res. 23：28-34, 2006.

三崎旭, 中田忍, 角田万里子：ムカゴに存在するアミラ

ーゼおよびa-D-galactse結合レクチンについて. Trace
Nutrient Res. 24 : 24-32, 2005.

金丸早智子, 森下比出子, 丸山悦子, 坂口守彦: 市販鯖
ずしのおいしさの要因. 食生活研究, 27(3) : 35-43,
2007.

X. Wang, Y. Fukuda, S. Chen, M. Yokoyama, Y. Cheng, C.
Yuan, Y. Qu and M. Sakaguchi : Development of
intermediate moisture foodstuff derived from freshwater
fish in China. J. Ocean Univ. China, 4: 229-233, 2005.

坂口守彦: 水産発酵食品のおいしさ. おいしさの科学,
4 : 27-34, 2007.

坂口守彦: 風味とテクスチャーから活魚のおいしさを語
る. おいしさの科学 2 : 27-33, 2006.

坂口守彦: 水産資源の有効利用ー最新動向と課題. 食品
加工技術 26 : 106-114, 2006.

小柳磨毅, 橋本雅至, 向井公一, 他: スポーツ傷害に対
する理学療法の取り組み. 理学療法学 Vol.32(4) : 269-
274, 2005.

橋本雅至, 小柳磨毅, 武岡健次, 境隆弘, 他: スポーツ
現場における傷害予防に対する試み. 日本臨床スポーツ
医学会誌 Vol.13(3) : 391-397, 2005.

木村佳記, 小柳磨毅, 向井公一, 橋本雅至, 他: 下り坂
のフォワードランジにおける前脚の動作分析. 日本臨床
バイオメカニクス学会誌 Vol.26 : 375-381, 2005.

佐藤睦美, 小柳磨毅, 向井公一, 橋本雅至, 他: 上り坂
のフォワードランジにおける支持脚の動作分析. 日本臨
床バイオメカニクス学会誌 Vol.26 : 383-387, 2005.

和泉淑子, 小柳磨毅, 橋本雅至, 境隆弘: リハビリテー
ション総合研究所の活動について. 四條畷学園大学リハ
ビリテーション学部紀要 創刊号 : 65-70, 2005.

小柳磨毅, 境隆弘, 橋本雅至, 他: スポーツ傷害に対す
る理学療法戦略. 理学療法学 Vol.34 (4) : 152-153,

橋本雅至, 他: 外力を加えたフォワードランジの前脚の
動作解析ー関節モーメント, 関節間力の算出から見た
膝関節の運動特性の検討ー. 日本臨床バイオメカニクス
学会誌 Vol.28 : 393-398, 2007.

Yaemi Koshino, Masashi Hashimoto, et al : Evaluation
parameters for care-giving motions. Journal of physical
therapy science Vol.19: 299-306, 2007.

銀山章代, 早川智美, 有馬祐美子: 料理へのイメージの
変化を促した集団作業療法の報告ー調理動作を用いた介
入の工夫についてー. 第25回近畿作業療法学会誌 : 113-
115, 2005.

松下太, 銀山章代, 梅原早苗, 山本芳江: 若年性認知症
支援の会「愛都(アート)の会」の活動から作業療法士
の役割を考える. 四條畷学園大学 リハビリテーション
学部紀要創刊号 : 71-76, 2005.

松下太, 銀山章代, 梅原早苗, 山本芳江, 比留間ちづ
子: 若年性認知症支援の会「愛都(アート)の会」の紹
介. 大阪作業療法ジャーナル 第19巻1号 : 39-41,
2005.

銀山章代, 巽絵理: クラブハウス「fountain house」の見
学報告. 四條畷学園大学 リハビリテーション学部紀要
第2号 : 35-38, 2006.

銀山章代: 作業療法の治療条件. 大阪作業療法ジャー
ナル 第19巻2号 : 36-39, 2006.

田中千都, 岡本英恵, 福島裕子, 銀山章代, 巽絵理: 作
業療法活動を選択し用いる際の臨床での視点Ⅱ. 大阪作
業療法ジャーナル 第19巻2号 : 93-95, 2006.

玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作: 長期間運動
は高次脳機能の向上に役立つ. 日本予防医学会雑誌, 2 :
19-26, 2007.

辛島千恵子, 松下太: 最重度知的障害をもつ対象者の自
己選択に関する支援サービスに対する対象者の肯定的評

価を「幸福の表情」から判断する試みー. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要創刊号：43-48, 2005.

松下太：介護保険施設における作業療法ー施設内でのアプローチを中心にー. 大阪作業療法ジャーナル 20 (2)：36-41, 2007.

西川智子, 日垣一男：学生が上肢装具の制作中に失敗しやすい工程の把握. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要創刊号：49-54, 2005.

日垣一男, 西川智子, 川上永子：入院中の高齢者の主観的幸福感ー8ヶ月の経時的変化ー. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要創刊号：29-35, 2005.

小柳磨毅, 境隆弘, 三谷保弘ほか：アスレチックリハビリテーションの現状ー競技復帰の可能性ー. 日本臨床スポーツ医学会誌 13 (3)：338-343, 2005.

橋本雅至, 小柳磨毅, 境隆弘ほか：スポーツ現場における傷害予防の試み. 日本臨床スポーツ医学会誌 13 (3)：391-397, 2005.

小柳磨毅, 境隆弘, 山野仁志ほか：コンタクトスポーツのリハビリテーション. スポーツ傷害 10：57-59, 2005.

境隆弘, 小柳磨毅：体幹の前傾角度がレッグプレスの筋活動に及ぼす影響. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要 創刊号：37-41, 2005.

和泉淑子, 小柳磨毅, 境隆弘ほか：リハビリテーション総合研究所の活動について. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要 創刊号：65-70, 2005.

小柳磨毅, 境隆弘, 中江徳彦ほか：膝部のスポーツ傷害. 理学療法 23 (1)：277-285, 2006.

堀部秀二, 小柳磨毅, 境隆弘ほか：膝前十字靱帯再建術後の筋力トレーニング. 臨床スポーツ医学 23 (2)：145-152, 2006.

椎木孝幸, 小柳磨毅, 境隆弘ほか：ACL再建術後のスク

ラム姿勢によるトレーニング. スポーツ傷害 11：15-18, 2006.

本並佳子, 小柳磨毅, 境隆弘ほか：ACL再建術後のHalf kneelingによるトレーニング. スポーツ傷害 11：19-22, 2006.

野谷優, 小柳磨毅, 境隆弘ほか：簡便な肩回旋筋力測定を試み. スポーツ傷害 11：43-45, 2006.

小柳磨毅, 境隆弘, 佐藤睦美ほか：競技復帰への応用. 日本臨床スポーツ学会誌 15 (2)：201-203, 2007.

小柳磨毅, 境隆弘, 橋本雅至ほか：スポーツ傷害に対する理学療法戦略. 理学療法学 34 (4)：152-153, 2007.

小柳磨毅, 境隆弘, 和泉淑子ほか：前十字靱帯損傷予防の取り組み. 臨床スポーツ医学 24 (5)：519-528, 2007.

境隆弘, 小柳磨毅, 中田研ほか：後十字靱帯損傷膝に対するハムストリングスの筋力強化トレーニングーX線透視画像による脛骨後方変位量の計測. スポーツ傷害 12 (in press).

巽成己, 巽絵理：自室からでない統合失調症患者への音楽を通じた関わりー長期入院中病室に引きこもっていたAさんが部屋から出てきた日ー. 第5回日本音楽療学会学術大会要旨集：51, 2005.

川上永子, 巽絵理, 濱元一美：作業療法士と歯科衛生士を目指す学生の高齢者に対する意識調査ー祖父母との同居経験の有無からー. 四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要創刊号：79-86, 2005.

田中千都, 岡本英恵, 福島裕子, 銀山章代, 巽絵理：作業活動を選択し用いる際の臨床での視点. 大阪作業療法ジャーナル第19巻2号：93-95, 2006.

巽絵理：閉じこもりを保障する作業療法：8年間同一病室に臥床し続けていたA氏への関わりから. 精神障害とリハビリテーション第10巻第2号：155-160, 2006.

銀山章代, 巽絵理: クラブハウス「Fountain House」の見学報告. 四條啜学園大学リハビリテーション学部紀要第2号: 35-38, 2006.

小野川陽子, 巽絵理: ギターを通じた統合失調症患者の関わりと音楽活動の意味について. 第7回日本音楽療法学会学術大会要旨集: 2007.

巽絵理, 銀山章代: わが国における統合失調症患者を対象とした精神科作業療法に関する研究の動向. 四條啜学園大学リハビリテーション学部紀要第3号: 2007.

武岡健次: 高齢者におけるフォワードランジの運動特性. 大阪教育大学 大学院教育学研究科 修士論文要旨集 vol.5: 153, 2005.

橋本雅至, 小柳磨毅, 武岡健次, 境隆弘, 三谷保弘: スポーツ現場における傷害予防に対する試み. 日本臨床スポーツ医学会誌 13巻3号: 391-397, 2005.

濱元一美, 大岡知子, 柴谷貴子, 祖父江鎮雄, 川上永子: 歯科衛生士と作業療法士における要介護高齢者に対する歯磨き援助を考察—歯科衛生士と作業療法士を目指す両学生に対する調査を基に—. 関西女子短期大学紀要第15号: 29-43, 2006.

川上永子, 巽絵理, 濱元一美: 作業療法士と歯科衛生士を目指す学生の高齢者に対する意識調査—祖父母との同居経験から—. 四條啜学園大学リハビリテーション学部紀要創刊号: 79-86, 2005.

川上永子: 歯磨きに対する利き手交換訓練導入の試み. 四條啜学園大学リハビリテーション学部紀要第2号: 25-29, 2006.

濱元一美, 川上永子: 歯磨き動作を考える. 関西女子短期大学紀要16号: 95-103, 2007.

川上永子: 歯磨きに対する利き手交換訓練の効果. 神戸大学大学院医学系研究科保健学修士論文: 2007.

杉原勝美: 介護老人保健施設入所の後期高齢者に対する作業提示方法による作業効率の違い. 神戸大学大学院

修士論文: 2007.

著 書

廣島和夫: 「リサーチマインド」. Doctor's Opinion, 「Doctor's Magazine」: 2007.

森永敏博: 標準理学療法—理学療法研究法第2版「理学療法研究の世界の動向」. 医学書院: 245-251, 2006.

森永敏博: 06 詳解柔道整復師国家試験「運動学」. 医道の日本社: 146-166, 2005.

森永敏博: 07 詳解柔道整復師国家試験「運動学」. 医道の日本社: 74-83, 2006.

森永敏博: 08 詳解柔道整復師国家試験「運動学」. 医道の日本社: 97-109, 2007.

坂口守彦: 水産加工品. 食品保蔵・流通技術ハンドブック, 三浦 洋, 木村 進(監修). 日本食品保蔵科学会編. 建帛社: 407-415, 2006.

坂口守彦 平田 孝: 水産資源の先進的有効利用法—ゼロエミッションをめざして. エヌ・ティー・エス: 2005.

橋本雅至, 他: 実践PTノート 運動器傷害の理学療法(小柳磨毅編). (株)三輪書店. 東京, 2007.

橋本雅至, 伊佐地弘基: アスリートケアマニュアル ストレッチング(小柳磨毅, 中江徳彦, 上野隆司編). (株)文光堂. 東京: 248-287, 2007.

松下太: 若年認知症—本人・家族が紡ぐ7つの物語—(若年認知症家族会・彩星の会編, 宮永和田編集代表). 中央法規. 東京: 210-216, 2006.

松下太: 介護職員基礎研修テキスト第3巻(介護職員基礎研修テキスト作成委員会編). 長寿社会開発センター. 東京: 108-114, 2007.

小柳磨毅, 境隆弘, 佐藤睦美ほか: 実践すぐに役立つアスレティックリハビリテーションマニュアル(福林編).

全日本病院出版会. 東京: 140-146, 2006.

境隆弘, 町田実雄, 加来敬宏: アスリートケアマニュアル・ストレッチング (井上悟監修). 文光堂. 東京: 186-247, 2007.

境隆弘, 小柳磨毅: 図解理学療法技術ガイド第3版 (石川齊ほか編). 文光堂. 東京: 891-897, 2007.

学会発表その他

福島八枝子, 中瀬尚長, 河井秀夫, 廣島和夫: 「小児大腿骨骨幹部骨折に対する可及的早期荷重ギプス法による積極的保存療法」. 第18回日本小児整形外科学会. 2007, 兵庫.

福島和夫, 中瀬尚長, 北野元裕: 「骨系統疾患の下肢変形に対する矯正手術の効果」. 第19回日整会 骨系統疾患研究会. 2007, 兵庫.

中瀬尚長, 安井夏生, 北野元裕, 上田孝文, 河井秀夫, 廣島和夫, 樋口周久, 吉川秀樹: 「先天性下腿偽関節症による骨矯正接合術: 年少期の術後5年以上骨折を生じていない症例の経過について」. 第19回 日整会 骨系統疾患研究会. 2007, 兵庫.

中瀬尚長, 北野元裕, 上田孝文, 河井秀夫, 廣島和夫: 「骨形成不全症の下肢骨折に対する手術治療: 骨折部低侵襲矯正骨切り術の併用例について」. 第19回日整会 骨系統疾患研究会. 2007, 兵庫.

福島八枝子, 中瀬尚長, 田宮大也, 佐原亘, 山本健吾, 河井秀夫, 永山芳大, 廣島和夫: 「Single elastic nailingによる小児大腿骨骨幹部骨折の1例」. 第36回大阪骨折研究会 (OFC). 2007, 大阪.

廣島和夫: 「足の外科 あれこれ」日整会教育研修講演. 夕陽丘整形外科フォーラム. 2007, 大阪.

廣島和夫: 「小児の骨折: 目撃者不明の骨折と小児虐待」. 第14回なみはや整形・外傷 21世紀フォーラム. 2007, 大阪.

廣島和夫: 「小児の特殊な骨折 ①原因不明骨折と児童

虐待、②鑑別診断としての骨形成不全症の骨折」. 第36回大阪骨折研究会. 2007, 大阪.

廣島和夫: 整形外科講義「腫瘍・骨系統疾患」. 昭和大学医学部5年次講義. 2007, 東京.

廣島和夫: 「原因不明な骨折と小児虐待」. (独) 国立病院機構滋賀病院「市民公開講座」. 2007, 滋賀.

廣島和夫: 「骨形成不全症にみられる比較的稀な骨折」. 骨形成不全症の会夏の集い (大阪市部). 2007, 兵庫.

廣島和夫: 「運動機能上の諸問題」. 色素性乾皮症 ふれっくる 夏の会. 2007, 大阪.

廣島和夫: 「一整形外科医が障害児医療の経験から学んだこと」. 四條畷学園 人権研修会. 2007, 大阪.

廣島和夫: 「二分脊椎症への整形外科の関わり」. 二分脊椎症協会 中国支部総会教育講演. 2007, 広島.

Kuroki H, Morinaga T, Ikezoe T, Ohhata K, Ieki H, Hama H: Development and clinical use of a float walking assist system using air pressure. 4th World Confederation for Physical Therapy in Asia Western Pacific Region and 9th Asian Confederation for Physical Therapy Congress 2005. Seoul Korea.

Kuroki H, Sakakima H, Ikezoe T, Oka T, Morinaga T, Hama H: A novel device for training: A float walking assist system using positive air pressure. 15th International Congress of WCPT 2007. Vancouver Canada.

森永敏博: 高齢者・障害者の身体特性. 日本テクノエイド協会 福祉用具プランナー研修会. 2005, 京都.

森永敏博: 身体のメカニズム. 京都市社会福祉協議会介護支援専門員養成研修会. 2005, 京都.

森永敏博: 腰痛の予防について. 京都市社会福祉協議会介護支援専門員養成研修. 2005, 京都.

森永敏博: リハビリテーションについて. 読売文化セン

ター講演会. 2005, 京都.

森永敏博：リハビリテーション医療の基礎知識. 京都府
シルバー人材センター訪問介護員養成研修会. 2005, 京
都.

森永敏博：福祉用具の利用と活用方法. 読売文化センタ
ー講演会. 2006, 京都.

森永敏博：介護保険制度における福祉用具の活用. 読売
文化センター講演会. 2006, 京都.

森永敏博：高齢者の身体特性とリハビリテーション. 京
都市人材研修センター 福祉用具プランナー研修会.
2006, 京都.

森永敏博：介護技術向上のための身体メカニズム. 京都
市社会福祉協議会. 2006, 京都.

森永敏博：肢体不自由と内部障害のリハビリテーション
について. 京都市・府社会福祉協議会 介護福祉士現任
研修会. 2006, 京都.

森永敏博：移動、移乗の介助方法について. 京都市社会
福祉協議会介護支援専門員研修会. 2006, 京都.

森永敏博：リハビリテーションの基礎知識. 京都市社会
福祉協議会、介護支援専門員研修会. 2006, 京都.

森永敏博：リハビリテーション概要. 読売文化センター
福祉用具専門相談員養成研修会. 2006, 京都.

森永敏博：リハビリテーション概要. 読売文化センター
福祉用具専門相談員養成研修会. 2007, 京都.

森永敏博：介護保険法とリハビリテーション. 京都市社
会福祉協議会介護支援専門員研修会. 2007, 京都.

森永敏博：肢体不自由と内部障害のリハビリテーショ
ン. 京都市・京都府社会福祉協議会 介護福祉士現任研
修会. 2007, 京都.

森永敏博：リハビリテーション医療の基礎知識. 京都府

シルバー人材センター訪問介護員養成研修会. 2007, 京
都.

森永敏博：転倒予防について. 四條畷学園大学公開講座.
2007, 大阪.

松尾拓哉, 籠橋有紀子, 千賀靖子, 小西啓悦, 木原隆英,
村上哲男, 大谷浩：微量栄養素と先天異常についての意
識調査. 第47回日本先天異常学会学術集会. 2007, 愛
知.

中田忍, 角田万里子, 三崎旭：カリン (*Cheenomelese
sinensis*) 種子の分泌多糖の糖鎖構造と性質. 日本農芸化
学会大会. 2005, 北海道.

三崎旭, 中田忍, 角田万里子：クワイ (*Sagittaria trifolia
L. var sinensis*) 塊茎からの α -xylosre, α -Galactose および
 α -Mannose 結合レクチンの精製と結合特異性. 日本農芸
化学学会大会. 2005, 北海道.

三崎旭, 中田忍, 角田万里子：ムカゴおよびアミラーゼ
および α -ガラクトース結合レクチンについて. 日本農芸
化学学会大会. 2006, 京都.

中田忍, 角田万里子, 三崎旭：カリン (*Cheenomelese
sinensis*) 種子の分泌多糖の糖鎖構造と機能特異性. 日本
栄養食糧学会2006年度大会. 2006, 静岡.

中田忍, 角田万里子, 三崎旭：いわゆる古代米澱粉の鎖
長分布解析による分子構造について：他の穀類澱粉との
比較. 第61回日本栄養食糧学会大会. 2007, 京都.

三崎旭, 角田万里子, 中田忍：バナナ (*Musa
acuminata*) レクチンによる多糖の内部鎖の特異的認
識； α -1,3および β -1,6-分子内グルコシル結合の特異的認
識. 日本糖質学会. 2007, 福岡.

Misaki A, Nakata S, Kaku M, I. J. Godstein：Chemical
and Binding Properties of α -D-xylosre, α -D-Galactose and
 α -D-Mannose-specific Lectins of Arrowhead, *Sagittaria
trifolia L. var sinensis* International Carbohydrate
Symposium Whistler B.C., Canada July (2006).

坂口守彦：冷凍魚はおいしいか、まずいか—その2「おいしさ」と品質の関係。冷凍空調技士・食品冷凍技士 Newsletter No.011, 2007.

坂口守彦：冷凍魚はおいしいか、まずいか—その1「おいしさ」をきめる要素。冷凍空調技士・食品冷凍技士 Newsletter No.010, 2007.

坂口守彦：随想 多言語のこと。四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要 第2号：51-52, 2006.

坂口守彦：食生活環境からの安心技術と課題—電氣的、光学的、力学的計測器類。有害電磁波並びに食品中の有害物の検出センサ機器の活用とその携帯化技術に関する調査研究成果報告書。NPO安心技術振興機構：69-76, 2006.

坂口守彦：私はこう思う—大型クラゲの有効利用を。日刊水産経済新聞：2006.

奥田玲子、石村哲代、坂口守彦：食品の色彩と見た目のおいしさに関する研究。日本調理科学会 近畿支部、東海北陸支部合同研究発表会：2006, 大阪.

坂口守彦：魚介類の風味とおいしさの解明。「食品の風味とおいしさ評価」に関する講習会, 2005.

坂口守彦：魚のおいしさ。「食材のおいしさの科学」に関する講習会, 2006.

Sakaguchi M: Taste and flavor of fish and shellfish. (2006.6.5～7 College of Food Science, Shanghai Fisheries University).

坂口守彦：水産発酵食品。「発酵食品のおいしさ」に関する講習会, 2007.

越野八重美, 橋本雅至, 他：三次元動作解析による介助動作の定量的評価。生体医工学シンポジウム2005(大阪). 2005, 大阪.

橋本雅至, 他：外力を加えたフォワードランジの前脚の

動作解析—関節モーメント, 関節間力の算出から見た膝関節の運動特性の検討—. 第33回日本臨床バイオメカニクス学会, 2006, 新潟.

中尾英俊, 宮本靖, 橋本雅至, 他：他動的な荷重負荷に対する下腿と足部の筋活動について—女性2例での検討—. 第47回近畿理学療法学会大会, 2007, 京都.

木下和昭, 橋本雅至, 他：当院における大腿骨頸部骨折術後患者の合併症の有無が移動能力に与える影響。第47回近畿理学療法学会大会, 2007, 京都.

藤高紘平, 大久保衛, 橋本雅至, 他：サッカー選手のボールキック動作における足アーチ高率変化量と足趾屈曲筋力との関係。第34回日本臨床バイオメカニクス学会, 2007, 東京.

橋本雅至：ランニング動作に対するスポーツリハビリテーション。平成17年度日本理学療法士協会現職者講習会「スポーツ医学」。2006, 大阪.

橋本雅至：部位別リハビリテーション各論（足関節・足部）。平成18年度日本理学療法士協会現職者講習会「スポーツ医学」。2007, 大阪.

橋本雅至：教育方法論。平成19年度第2回大阪府理学療法士会新人教育部研修会。2007, 大阪.

銀山章代, 早川智美, 有馬祐美子：料理へのイメージの変化を促した集団作業療法の報告。第25回近畿作業療法学会。2005.

松下太, 銀山章代, 梅原早苗, 山本芳江, 比留間ちづ子：若年性認知症支援の会「愛都（アート）の会」の紹介。第21回大阪府作業療法学会。2005.

早川智美, 萬貴裕, 甲斐亜紀子, 内川誠, 銀山章代：奈良精神作業療法研究会活動報告。第1回奈良県作業療法学会。2007.

銀山章代：作業療法の歴史。作業療法現職者講習会。2005, 大阪.

- 銀山章代：作業療法の治療条件. 作業療法現職者講習会. 2005, 和歌山.
- 銀山章代：これからの作業療法. 第26回近畿作業療法学会. 2006.
- 銀山章代：臨床力とは 臨床精神作業療法研究会. 2007, 山形.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作：サル7野の運動性および意欲依存性の活動. 第98回近畿生理学談話会. 2005, 滋賀.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作：サル7野の運動性および意欲依存性の活動. 日本生理学雑誌 67(12)：414, 2005.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作：頭頂連合野の荷重と回転速度に対する予測制御機能. 第35回日本臨床神経生理学会学術大会. 2005, 福岡.
- Posterior parietal cortex in load and rotary speed preparatory control.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作：頭頂連合野の荷重と回転速度に対する予測制御機能. 臨床神経生理学 33(5)：392, 2005.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 久寶真一, 市川純, 雨夜勇作：心健康診断に唾液分泌・手掌発汗・心拍の計測が有用. 第3回日本予防医学会学術総会. 2005, 山口.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 久寶真一, 市川純, 雨夜勇作：心健康診断に唾液分泌・手掌発汗・心拍の計測が有用. 第3回日本予防医学会学術総会抄録集：48, 2005.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作：サルにおける空間認知の中枢神経機序. 第83回日本生理学会大会. 2006, 群馬.
- Gemba H, Nakao K, Matsuzaki R, Amaya Y： Central nervous mechanisms in connection with spatial recognition in monkeys. J.Physiol.Sci. 56(Suppl.): S193 (2006).
- Gemba H, Nakao K, Matsuzaki R, Amaya Y, Kyuhou S, Ichikawa J： Central nervous organization in connection with spatial recognition. 第1回複合医工学シンポジウム(The First Symposium on Complex Medical Engineering SCME2006)、平成18年5月19～20日、京都市芝蘭会館 (2006).
- Gemba H, Nakao K, Matsuzaki R, Amaya Y, Kyuhou S, Ichikawa J： Central nervous organization in connection with spatial recognition. 第1回複合医工学シンポジウム abstract p72-73 (2006).
- 雨夜勇作, 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一：頸部水平回転運動における頭頂連合野の予測制御. 大学院研究中間発表会 高次機能制御系・ブレインメディカルサイエンス系. 2006, 大阪.
- 雨夜勇作, 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一：頸部水平回転運動における頭頂連合野の予測制御. 大学院研究中間発表会 高次機能制御系・ブレインメディカルサイエンス系要旨集, 2006.
- 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作：体性感覚始動性上肢運動の中枢機序は視覚始動性の場合と異なる. 第29回日本神経科学学会大会. 2006, 京都.
- Gemba H, Nakao K, Matsuzaki R, Amaya Y： Motor programming for somatosensory-initiated and visuo-initiated hand movements differs. Neurosci.Res. 55(Suppl.1): S99 (2006).
- 松崎竜一, 久寶真一, 中尾和子, 雨夜勇作, 玄番央恵：サル視床一前頭前野投射について. 第99回近畿生理学談話会. 2006, 大阪.
- 松崎竜一, 久寶真一, 中尾和子, 雨夜勇作, 玄番央恵：サル視床一前頭前野投射について. 日本生理学雑誌 68(11)：418, 2006.
- 中尾和子, 玄番央恵, 松崎竜一, 雨夜勇作：サルの体性

感覚誘発電位(SEP)とSEPに対する長期間運動の影響.

第99回近畿生理学談話会. 2006, 大阪.

中尾和子, 玄番央恵, 松崎竜一, 雨夜勇作: サルの体性感覚誘発電位(SEP)とSEPに対する長期間運動の影響.

日本生理学雑誌 68(11): 417, 2006.

玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作: 長期間運動は高次脳機能の向上に有効. 第5回日本女性科学者の会学術大会. 2006, 京都.

玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作: 体性感覚始動性上肢運動の発現機序は視覚始動性の場合と異なる. 第36回日本臨床神経生理学会・学術大会. 2006, 神奈川.

玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作: 体性感覚始動性上肢運動の発現機序は視覚始動性の場合と異なる. 臨床神経生理学 34(5): 456, 2006.

玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作: 長期間運動は高次脳機能の向上に役立つ. 第4回日本予防医学会学術総会. 2006, 埼玉.

玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作: 長期間運動は高次脳機能の向上に役立つ. 第4回日本予防医学会学術総会プログラム・抄録集: 77, 2006.

中尾和子, 玄番央恵, 松崎竜一, 雨夜勇作: 長期間運動は頭頂葉の活性化に役立つ. 第4回日本予防医学会学術総会. 2006, 埼玉.

中尾和子, 玄番央恵, 松崎竜一, 雨夜勇作: 長期間運動は頭頂葉の活性化に役立つ. 第4回日本予防医学会学術総会プログラム・抄録集: 76, 2006.

玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一, 雨夜勇作: 長期間運動は学習能力の向上に有効. 第84回日本日本生理学会大会. 2007, 大阪.

Gemba H, Nakao K, Matsuzaki R, Amaya Y : Physical exercise elevates cognitive functions in monkeys. . J.Physiol.Sci. 57(Suppl.): S157 (2007) .

雨夜勇作, 玄番央恵, 中尾和子, 松崎竜一: 頸部水平回転運動における頭頂連合野の予測制御. 第42回日本理学療法学術大会. 2007, 新潟.

雨夜勇作: 理学療法学 vol.34. supplement No.2 : 232, 2007.

松下太, 錦古里美和, 梶田有衣子, 日垣一男: 行為事象記憶における実演課題の効果について—健康成人での予備調査—. 第39回日本作業療法学会. 2005, 大阪.

松下太, 錦古里美和, 名倉和幸, 得野奈緒子: 認知症の重症度と行為事象記憶における実演課題の効果について. 第40回日本作業療法学会. 2006, 京都.

松下太: 最重度認知症におけるQOLとは—感覚刺激療法を通して—. 第41回日本作業療法学会. 2007, 鹿児島.

松下太: (医) 八尾徳洲会総合病院ホームヘルパー養成研修会講師「福祉用具に関する知識」. 2005.

松下太: (社) 日本作業療法士協会生涯教育制度現職者研修会(大阪府作業療法士会主催)講師「維持期の作業療法」. 2005, 大阪.

松下太: (株) 京阪ライフサポートホームヘルパー養成研修講座講師「共感的理解と基本的態度の形成」「レクリエーション体験実習」. 2005, 2006, 2007.

松下太: (社) 大阪府作業療法士会事業部研修会講師「認知症について～基本的知識の再確認～」. 2006, 大阪.

松下太: (社) 日本作業療法士協会生涯教育制度現職者研修会(大阪府作業療法士会主催)講師「介護保険施設におけるアプローチ」. 2006, 大阪.

松下太: (社) 日本作業療法士協会生涯教育制度現職者研修会(奈良県作業療法士会主催)講師「維持期の作業療法」. 2007, 大阪.

西川智子, 宮口英樹: 学生が上肢装具の制作中に失敗しやすい工程の把握. 第40回日本作業療法学会. 2006, 京都.

西川智子, 宮口英樹, 日垣一男: スプリント製作時に見られた動作特性—熟練者1名の予備的研究から—. 第41回日本作業療法学会. 2007, 鹿児島.

山_忍, 境隆弘, 小柳磨毅ほか: ACL再建術後患者の下腿回旋可動域の推移. 第18回大阪府理学療法学会大会. 2006, 大阪.

境隆弘, 小柳磨毅, 中田研ほか: 後十字靱帯損傷膝に対するハムストリングスの筋力強化トレーニング—X線透視画像による脛骨後方変位量の計測. 第12回スポーツ傷害フォーラム. 2007, 大阪.

佐藤睦美, 小柳磨毅, 境隆弘ほか: 前十字靱帯不全膝における膝伸筋トレーニング時の脛骨前方変位量. 第42回日本理学療法学会大会. 2007, 新潟.

巽絵理: 自閉した統合失調症患者に対する閉じこもりを保障する作業療法—8年間同一病室に臥床し続けていたA氏への関わりから—. 神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻修士論文. 2006, 兵庫.

Koyanagi M, Takeoka K, Mukai K, Higuchi Y, Tanaka : Characteristics of forward lunge exercise in elderly persons. Program At A Glance World Physical Therapy 2007, 2-6 June 2007.

杉原勝美, 渡部聖子: 3年制専門学校における卒業判定と国家試験対策への取り組み—合格への不安よりも働きたい作業療法士をめざして—. 第22回大阪作業療法学会. 2006.

杉原勝美: 特定非営利活動法人リーフ訪問介護員養成講座 腰痛の予防・移乗・移動の介助, 2005.

杉原勝美: 転倒予防 住環境について. 四條畷学園大学公開講座, 2007.